



## スペイン語へのいざない

(2007年3月東京大学新聞に掲載されたものです)

石橋 純 (スペイン語部会／ラテンアメリカ文化人類学)

スペイン語は「お得」な言語です。「学びやすく、使いでのある言葉」だからです。まず、綴り字が規則的です。「a」という綴り字は必ず「ア」と読みます。発音も簡単です。日本語とよく似て「アイウエオ」五母音からできています。子音の難しい発音もほとんどありません。

スペイン語の母語人口は約三億五千万人。二〇か国の公用語になっています。アメリカ合衆国のスペイン語人口は四千万人（総人口の14%）を超え、日本にも五〇万人のスペイン語話者が住んでいます。サッカーワールドカップの出場国のなかで一番多いのはスペイン語国。野球のメジャーリーグでも、数多くのスペイン語話者が活躍していますね。スペイン語を学べば、こうした人びとと交流することができるのです。

もちろん、いいことづくめではありません。文法は英語より格段に複雑です。「ir」（行く）という動詞だけでも活用形（go-went-goneのような変化）が五〇個以上もあります。東大の一年生の授業では毎回小テストを課して、動詞活用を徹底的に練習させます。一夜漬けは通用しません。掛算九九を覚えなおすくらいの覚悟をしてください。

でも、苦勞は報われます。スペイン語世界の豊かな自然と文化があなたを待ちうけているのですから。アルハンブラ宮殿、セビーリヤの大聖堂、インカ・アステカ・マヤの遺跡、ナスカの地上絵、イースター島……アマゾンのジャングル、カリブの島々、アンデスの万年雪、ギアナ高地、ガラパゴス諸島、パタゴニアの大氷河……タコス、パエーリヤ、サルサにフラメンコ！スペイン語を学べば、こうした胸躍る世界が「あなたの身近な存在」になるのです。ぜひ、わたしたちのホームページ <http://spanish.ecc.u-tokyo.ac.jp>を訪ね、スペイン語の世界をのぞいてみてください。